

令和2年9月20日  
今週のベストショット



青松園A ソルトベイスターズ 対 新町ウインズ

左から勝利投手の酒井投手、勝利打点の中村（健）選手、2ホーマーの井浦選手。

写真：奈多フェニックス 實延新伍

青松園A 井浦選手の止めの一発でソルトベイスターズが空中戦を制す！！

ソルトベイスターズ 3 0 2 5 2 1 2 酒井○ー坂本

新町ウインズ 3 4 0 1 2 1 0 藤田●ー永渕

HR：中村健（ソルト）、井浦2（ソルト）酒井（ソルト）、永渕2（新町ウ）

盗塁：中村健2（ソルト）、桐島2（新町ウ）

負ければそこで終わりの決勝トーナメントは両チーム合わせて6本のHRが飛び交う激戦となった。一回表、ソルトはウインズ藤田投手に対し二死一塁で四番井浦選手がつまりながらも右越えHRを放ちいきなり2得点。するとその興奮冷めやらぬうちに続く酒井選手も右中間へHRを放ち、アベックアーチで3点を奪った。その裏ウインズは先頭の泉（太）選手が四球で出塁後、永渕、桐島選手がそれぞれ中前打を放ち1点を返すとパスボール、犠飛で早くも同点に追いついた。二回表のソルトの攻撃をテンポよく三者凡退に抑えたウインズはその裏、先頭の泉（圭）選手が中前打、一番泉（太）選手が四球で出塁し無死一二塁とすると続く二番永渕選手が右中間へ3ランHRを放つなど4点を奪い試合を優位に進める。点差を縮めたいソルトは三回表、四球で出塁した中村（健）選手が盗塁に成功。続く三番野口選

手の鮮やかな左中間への二塁打、四番井浦選手の右前打で2点を返した。するとソルトは三回裏のウインズの攻撃を初めて無失点に抑え、さらなる反撃にでる。四回表、無死一塁で一番坂本選手が二塁打、中村（健）選手の技ありの内野安打、酒井選手の中前打に3つの四球、2つのワイルドピッチが絡み一挙5点を奪い逆転に成功した。後半に差し掛かり試合をひっくり返されたウインズだが先頭の桐島選手が左前打を放つと相手の守備が乱れる間に一気に二塁へ、五番藤田選手の右飛で三塁に進塁すると相手バッテリーエラーで1点を返した。最終回、ソルトは先頭の中村（健）選手が左中間へHRを放ちすぐさま縮められた点差を元に戻すと一死で打席に立った四番井浦選手が驚愕のパフォーマンスを見せた。真ん中、やや内寄りの球を振り抜いた打球は打った瞬間それと分かる当たりで青松園Bグラウンドの二塁ベースへ届くすさまじい飛距離のHRだった。ウインズも永渕選手がこの日2本目となるHRを放ち最後まで諦めない姿勢を見せたが12-10でソルトが乱打戦を制した。

（記事、写真：奈多フェニックス 實延新伍）



ソルトベ이스ターズ先発の酒井投手。



新町ウインズ、エースの藤田投手。



二回裏、うまく右方向へ犠飛を放つ今林（孝）選手。



三回表、鮮やかなタイムリーを放つソルトベ이스ターズ野口選手。



2本のHRを放ったウインズ永瀨選手。



ソルトベ이스ターズ勝利の立役者たち！！

### 青松園B 好投りレーでパイレーツに軍配！

和白新町パイレーツ 1 0 0 3 1 2 7 吉田○、川原ー川原、吉田

塩浜ジャガーズ 0 0 0 2 0 0 2 立石●ー猪野

3BH：川原（新町パ） 盗塁：小林、白岩、岡山（新町パ）

1-0で迎えた和白新町パイレーツは四回表、先頭の九番中島選手が死球で出塁すると、続く一番小林選手のチーム初ヒットとなる内野安打でチャンスを広げる。その後一死一三塁となり三番白岩選手は痛烈な打球を二遊間に放つ。これを塩浜ジャガーズ松尾二塁手がグラブに当てるも、送球を急いだか一塁への投げた球が外れてしまい一塁走者の生還まで許してしまう。パイレーツは五番川原選手にも適時三塁打が飛び出しこの回3点を奪う。ジャガーズは4点ビハインドで迎えた四回裏先頭の一内田選手、二番池内選手がそれぞれ四死球で出塁すると、無死一二塁から三番末永選手のレフトの前に落ちるヒットで二塁走者が生還し1点を返す。その後ジャガーズは相手の失策でもう1点を追加するも、反撃もここまで。五回裏からパイレーツは川原投手が登板。走者は出すものの五回、六回と無失点でジャガーズ打線を封じ込めパイレーツが吉田、川原両投手の好投で勝利を手にした。

（記事、写真：雁の巣ライナース 明瀬 旭）



塩浜ジャガーズ先発の立石投手。



和白新町パイレーツ先発の吉田投手。



三回表、送りバントを決めるパイレーツ六番八坂選手。



四回裏、ジャガーズ三番末永選手のレフト前タイムリー。



五回表、パイレーツ八番佐々木選手のライト前ヒット。



パイレーツ二番手の川原投手。



六回表、パイレーツ二番岡山選手のライト前ヒット。

奈多グランド 試合を決めたのはキャプテンの一振り！

三苦フレンズ 0 2 2 1 0 1 6 山口○ー佐藤(由)

三友クラブ 3 1 1 0 0 0 5 柴田、矢野●ー鳥山

HR : 生野 (三苦フ) 2BH : 山口 (三苦フ) 鳥山 (三友ク) 盗塁 : 生野 (三苦フ)

9月も終わりにさしかかり、肌寒い中でスタートしたこの試合は、対照的に熱い試合となった。両チーム好投手の先発で投手戦になるかと思われたが、始まってみると予想とは相反して点の取り合いとなる。初回00点で抑えると、その裏の三友クラブは先頭坂本(結)選手のセーフティバント、二番矢野選手の技ありのレフト前でチャンスを作ると、2つのバッテリーミスによりノーヒットで1点を先制すると、足を絡めた攻撃でこの回3点を奪った。苦しい立ち上がりになったフレンズだが、すぐさま反撃にでる。2つの四球とヒットで満塁のチャンスを作ると、九番寺山選手に三遊間を鋭く破るタイムリーが飛び出すと、続く吉村選手もレフト前に運び、1点差に詰め寄る。しかしその裏三友クラブもすぐさま1点を取り返し、流れを取り戻したかと思いきや、続く三回にフレンズはまたもや下位打線でチャンスを作ると、寺山選手が二打席連続となるタイムリーヒットが飛び出し、同点とする。続く攻撃でも互いに1点ずつ取りあい、取られたら取り返す好ゲームとなる。そして時間的に最終回となる六回、ここまで当たりのなかったフレンズのキャプテン生野選手がライトへ勝ち越しのホームランを放ち、とうとう逆転に成功する。その裏は山口投手が2つの三振を奪い締めくり、フレンズが逆転で三友クラブを下し、トーナメントのコマを進めた！（記事・写真：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗）



三友クラブ先発の柴田投手。



決勝ホームランを放ったフレンズ生野選手。



技ありのヒットを放つ三友クラブ矢野選手。



豪快なスイングを見せる三友クラブ鳥山選手。



三苦フレンズ先発の山口投手。



レフトヘタイムリーを放つフレンズ吉村選手。



3打点の活躍のフレンズ寺山選手。



途中登板の三友クラブ矢野選手。



強烈な打球でヒットを放つ三友クラブ坂本(歩)選手。



ファールチップが激突してしまった朝川球審。

奈多クラブ対奈多サンデーズ戦は中止となりました。